2026.Winter
vol.45

ー喜びと共にー　霧島記念病院広報誌

【はっぴい　はっぴい】

Happy Happy

特集

国分夏祭り

【トピックス】

「救急症例検討会」

「下肢静脈瘤」

「医師紹介」

ご自由に
お持ち帰り
ください

医療法人　健康会
霧島記念病院
Kirishima Memorial Hospital

地域の夏を彩る
霧島国分

笑顔と熱気に包まれた、国分の夏。

7月18日・19日の2日間、「第62回霧島国分夏祭り」が開催されました。

国分の街が多くの人でにぎわい、ステージイベントや総おどり、国分寺御輿など、夏祭りならではの熱気に包まれました。

霧島市の夏の風物詩として長く親しまれている霧島国分夏祭り。会場には子どもから大人まで幅広い世代が集まり、地域の皆さんの笑顔があふれていました。

職員も一緒に、夏を満喫！

霧島記念病院も7月18日の総踊りに参加しました！
当日は、さまざまな部署・職種から職員が集まり、いつもの制服姿とは少し違った雰囲気で、地域の皆さんと一緒に総踊りを楽しみました。

夕暮れが近づくにつれて会場には多くの人が集まり、祭りの熱気も次第に高まっていきました。

音楽が流れ始めると、参加者みんなで息を合わせて踊り、会場はたくさんの笑顔と活気に包まれました。

暑さを感じる中での総踊りでしたが、職員同士で声を掛け合いながら踊ることで、暑さも忘れるほど楽しい時間となりました。

医療の現場では、一人ひとりが力を合わせて患者さんを支えています。そんな日々のチームワークは、職員同士の交流から生まれるコミュニケーションも大切な要素のひとつ。
お祭りを通して親睦を深め、職員同士の距離もさらに近くなりました。

夏祭り

「地域とともに」
これからも霧島記念病院は、地域の皆さまと歩んでいきます。

医療を通じて地域を支えるだけでなく、地域の一員として、さまざまな活動や交流を大切にしていきます。

これからも、地域の皆さまに身近に感じていただける病院を目指して――。
霧島記念病院の夏、思い出の1ページになりました。

第２回 症例検討会を開催しました

― 実際の症例を通して深める、消防と医療の連携

2026年9月3日（木）、霧島記念病院にて「第2回 症例検討会」を開催しました。
今回の症例検討会は、現地とオンライン（Zoom）を組み合わせたハイブリッド形式で開催。消防署の救急救命士と当院医師が参加し、実際に対応した救急症例をもとに、症例発表や質疑応答、講義を行いました。

検討会では、消防署救急救命士から「脳神経外科症例」や「CPA症例」について活動報告が行われ、その後、当院医師が症例の振り返りを実施しました。
救急現場での対応から、医療機関への搬送後の診療まで、それぞれの立場から症例を振り返ることで、救急搬送時の情報共有や医療機関との連携について考える貴重な機会となりました。

また、上田医師による講義では、「頻呼吸はなぜ起こる？」をテーマに、救急診療に関わる知識について学びました。

「顔の見える連携」を大切に

今回の症例検討会では、実際の症例を通して互いの経験や知識を共有し、より良い救急医療につなげるための意見交換が行われました。
「一人でも多くの命を救うために、できることは何か。」

その思いを共有し、消防と医療がそれぞれの専門性を生かしながら学び合う時間となりました。

霧島記念病院はこれからも、地域の救急医療を支える医療機関として、消防をはじめとする関係機関との連携を大切にし、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

血管外科 特集

「足の血管が浮き出る」「むくむ」「重だるい」

その症状、下肢静脈瘤かもしれません。

霧島記念病院では、下肢静脈瘤の診断・治療を行っています。

下肢静脈瘤は、足の静脈で血液が逆流することで血管が拡張し、血管が浮き出たり、こぶのように膨らんだりする病気です。
見た目の変化だけでなく、

- 足のむくみ
- 足の重だるさ・疲れ
- かゆみ・熱感
- 夜間のこむら返り

などの症状がみられることがあります。
「年齢のせいかな」「これくらいなら大丈夫」と思わず、気になる症状があれば一度ご相談ください。

POINT 01

まずは超音波検査で血管の状態を確認

問診・診察に加え、超音波（エコー）検査などを行い、血液の逆流や静脈の状態を確認します。
症状や血管の状態に合わせて、弾性ストッキングなどの保存療法から、硬化療法、手術、血管内治療まで、適切な治療方法を検討します。

POINT 02

体への負担が少ない「血管内焼灼術」

当院では、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術を行っています。
カテーテルを血管の中に挿入し、血管の内側から治療する方法で、皮膚を大きく切開する必要がないため、傷が少なく、身体への負担を抑えた治療が可能です。
症例によっては日帰り手術にも対応しています。

術　　式	2025年４月～	2026年8月まで
下肢静脈瘤血管内焼灼術	30件	40件
下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	3件	2件

Pick up

医師紹介
西山 淳 先生

救急と麻酔の専門性で、地域医療を支える。

2026年4月より霧島記念病院に着任した、西山 淳 先生をご紹介します。

鹿児島大学医学部を卒業後、麻酔科医・救命救急医として研鑽を重ねてきた西山先生。

日本救急医学会救急科専門医、日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医の資格を有し、救急医療と麻酔医療の両面から患者さんの治療を支えています。

救急医療では、一刻を争う状況の中で、迅速かつ的確な判断と対応が求められます。西山先生は、これまで培ってきた専門的な知識と経験を生かし、地域の救急医療を支えるとともに、重症患者さんの診療にも取り組んでいます。

また、日本DMAT隊員登録医・AMAT隊員登録医として災害医療にも携わるほか、ICLSディレクター、エマルゴトレインシステム シニアインストラクターとして、医療スタッフの教育・訓練にも力を注いでいます。

さらに、鹿児島大学大学院で医学博士を取得し、日本救急医学会九州地方会評議員、鹿児島集中治療研究会世話人など、救急・集中治療分野で幅広く活動されています。

「救急医療を核に地域と密着」を掲げる霧島記念病院にとって、麻酔と救急、そして災害医療まで幅広い経験を持つ西山先生は、地域の皆さまの安心を支える心強い存在です。

これからもスタッフと力を合わせ、一人ひとりの患者さんに寄り添い、地域の救急医療を支えていきます。

PROFILE

- 鹿児島大学医学部卒業
- 鹿児島大学大学院 医学博士
- 2026 年 4 月より霧島記念病院勤務
- 日本救急医学会 救急科専門医
- 日本麻酔科学会 麻酔科専門医・指導医
- 日本救急医学会九州地方会 評議員
- 鹿児島集中治療研究会 世話人
- ICLS ディレクター
- エマルゴトレインシステム シニアインストラクター
- 医師臨床研修指導医養成講習修了医
- 日本 DMAT 隊員登録医
- AMAT 隊員登録医

第１回 地域連携研究会

～ 地域とともに学ぶ感染対策セミナー ～

霧島記念病院では、地域の医療・介護関係者の皆さまと交流を深め、地域医療についてともに学ぶ機会として、第1回地域連携研究会「地域とともに学ぶ感染対策セミナー」を開催しました。

当日は、地域の医療・介護関係者の皆さまにご参加いただき、感染対策について一緒に学ぶ有意義な時間となりました。

セミナーでは、感染対策の基本だけでなく、実際の現場で起こった事例紹介を交えながら、感染拡大を防ぐためのポイントや、日頃から意識したい取り組みについて学びました。

実際の事例を通して考えることで、感染対策をより身近なものとして捉え、日頃の業務を振り返る機会にもなりました。

感染症から患者さんやご家族、そして地域の皆さまを守るためには、医療機関だけでなく、地域の医療・介護に関わるさまざまな施設や職種が連携して取り組むことが大切です。

今回の研究会では、感染対策について学ぶだけでなく、参加者同士が情報を共有し、施設や職種の垣根を越えた「顔の見える関係づくり」につながる機会となりました。

今回の学びをそれぞれの現場に持ち帰り、地域全体の感染対策につなげていければと思います。

霧島記念病院はこれからも、地域の皆さまとともに学び、つながり、支え合う医療を大切にしてまいります。

地域の医療・介護関係者の皆さまと連携を深めながら、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

広報委員が選ぶ

ベストショット

Best Shot

撮影者：永田　翼

解　説：霧島の紅葉は平年 11 月中旬頃が見頃です。大浪池、えびの、霧島神宮などで季節の旬を楽しむのもおすすめです。温泉と美味しいご飯があれば言うことなしです。

脳神経外科・内科・血管外科・外科・救急科
救急科・循環器内科・リハビリテーション科・整形外科

医療法人 健康会
霧島記念病院
Kirishima Memorial Hospital

〒899-4322　鹿児島県霧島市国分福島1丁目5－19
TEL:0995-47-3100　FAX:0995-48-7312
HP http://kirishima-memorial.jp/
mail:info@kirishima-memorial.jp

Access
●九州自動車道溝辺空港インターより車で２０分
●東九州自動車道隼人東インターより車で５分
●ＪＲ国分駅より車で１０分
●ＪＲ隼人駅より車で１０分